

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（大修館書店『精選 古典探究』）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対し
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A 説話文学のおもしろさ 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする（(1)ア） ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める（(1)エ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える（A(1)イ） ・古典の作品や文章を多面的多角敵な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げる（A定期考査）	大江山いくのの道(十訓抄) 安倍晴明(今昔物語集) 比べ読み 演習 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている（(1)ア） ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている（(1)エ） ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている（(2)イ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている（A(1)イ） ・古典の作品やそこに描かれる人物を多面的・多角的な視点から捉え、我が国の言語文化について自分の考えを広げている（A(1)イ）	○	○	○	16
	B 随筆文学に現われる価値観 【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにする（(1)ア） ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める（(1)イ） ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする（(2)エ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈する（A(1)ウ） ・文章の種類をふまえて、古典特有	花は盛りに(徒然草) 行く河の流れ(方丈記) 安元の大火(方丈記) 演習 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解することを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている（(1)ア） ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている（(1)イ） ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている（(2)エ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている（A(1)イ） ・作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈している（A(1)ウ） ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえて、人間・社会・自然に対	○	○	○	18
	C 日記文学の虚構性／自照性 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める（(1)イ） ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める（(1)ウ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈する（A(1)ウ） ・文章の種類をふまえて、古典特有	源氏の五十余巻(更級日記) 日記と日本人(林望) 演習 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている（(1)イ） ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている（(1)ウ） 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈する（A(1)ウ） ・文章の種類をふまえて、古典特有	○	○	○	10
2 学 期	D 歌物語の叙情性 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める（(1)エ） ・古典の作品を通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める（(2)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係	初冠(伊勢物語) をばすて(大和物語) 演習 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている（(1)エ） ・古典の作品を通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深めている（(2)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係	○	○	○	7
	E 物語文学の開花 【知識及び技能】 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深める（(1)エ） ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係	光源氏の誕生(源氏物語) 若紫との出会い(源氏物語) 演習 ・一人1台端末の活用 等	○		【知識及び技能】 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている（(1)エ） ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている（(2)ア） 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係	○	○	○	16
						○	○	○	1

	G 修学旅行事前学習 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める〈(1)イ〉 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める〈(2)ア〉 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などの対する自分の考えを広げたり深めたりしている (A(1)カ) 【学びに向かう力、人間性等】	道真左遷 (大鏡) ・一人1台端末の活用 等				○					4	
									○	○	1	
3 学 期	G 歴史を語る物語 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める〈(1)イ〉 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深める (イ) 【思考力、判断力、表現力等】	花山院の出家 (大鏡) 忠度都落ち (平家物語) 演習 ・一人1台端末の活用 等				○			○	○	○	20
	H 和歌を論じる 【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める〈(1)イ〉 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める 定期考査	新古今和歌集 おもて歌 (無名抄) 演習 ・一人1台端末の活用 等				○			○	○	○	10
										○	○	1
											合計	106

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（精選 論理国語（三省堂））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	書	読					
1 学 期	A 「論理国語」との出会い 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 定期考査	「論理力と思考力」野矢茂樹 学びを広げる（中身当てクイズ） 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			A 「論理国語」との出会い 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを	○	○	○	4
		新聞記事を選び、自分の考えを述べる	○			○	○	○	5	
	B 情報社会を生きる 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言い換えや比喩を用いながら、自他の関係性について論じる叙述の方法を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 定期考査	「ぬくみ」鷲田清一 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			B 情報社会を生きる 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを	○	○	○	6
	「マルジャーナの知恵」岩井克人 学びを広げる（環境問題について考える） 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			○	○	○	7		
2 学 期	C 環境問題を考える 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 定期考査	「世代間倫理としての環境倫理学」加藤尚武 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			C 環境問題を考える 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	6
		「記号を使う動物」池上嘉彦 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			D 記号としての言葉 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	7
	E 生命について考える 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生体認証技術の持つ課題を文脈から把握し、それが現代社会に投げかける意味について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	「病と科学」柳澤桂子 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			G 評論7 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	7
	「動的平衡」福岡伸一 作文（生命科学や科学技術に関して意見を述べる） 演習 ・一人1台端末の活用 等	○			H 評論8 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	7	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位 3 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察する。

世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようという態度【学びに向かう力、人間性等】を養う。また多面的・多角的な考察と理解を通し日本はもちろん他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などの関連や現代世界とのつながりなどに着目して多角的に考察できる。	・世界の歴史の展開に関わる出来事について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の変化と濃厚・放畜の関係について考察し、文明誕生の基礎と文明が生まれるために必要だった条件を理解させる。 ・オリエントとその周辺に成立した国家や文化を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などの関連に着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の誕生や古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだし、見通しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①文明の成立と古代文明の特質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまを理解させる。 ・秦か唐の統一国家の支配体制についてそれまでの時代や他の地域と比較し理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風土を示す写真や史料をもとに、その時代の特徴や近隣諸国への影響を多角的に考察し表現させる。 ・インドにおいて、それまで仏教やジャイナ教がさかんだったことをふまえた上で、ヒンドゥー教が社会に根付いていった背景を考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアや南アジア、東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味、関心と疑問、追究してみたいことを見いだし、見通しをもって学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①中央ユーラシアと東アジア世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草原とオアシスの世界 ・秦、漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成 <p>②東アジア世界と長男アジア世界の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン諸国家がそれぞれどのように興亡していったかを理解させる。 ・アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのかやギリシア文化にどのような特徴があるか理解させる。 ・ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいったのか、またキリスト教とのかかわりを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考古学的資料や図像資料をもとに、イラン文明の影響やローマの地中海世界統一の理由、キリスト教拡大の理由などを考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン文明、古代ギリシアローマについて、自分が抱いた興味、関心と疑問を見い出して調査しまとめようとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン諸国家の興亡とイラン文明(アケメネス朝、パルティア、ササン朝) ・ギリシア人の都市国家 ・ローマ共和政の特徴と展開 ・ローマ帝国の成立と意義 ・ローマの文化 ・キリスト教の成立と発展 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート</p>				20
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのか理解させる。 ・アジアやアフリカの各地でどのようにイスラーム化がすすんだかを理解させる。 ・アッバース朝衰退後の西アジアにおいて政治的統一は失われたが、経済や文化の交流を通じてムスリムの連帯が維持されたことを理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図などをもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の各地への伝播や変動する西アジアの情勢、中世の西ヨーロッパについて、さまざまな資料を意欲的に観察し学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。 	<p>①イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・イスラームの諸地域への伝播 ・西アジアの動向 ・ヨーロッパ世界の形成 <p>②ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・封建社会とその展開 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解させる。 ・封建社会の衰退と教皇権の衰退および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを把握させる。 ・10～12世紀の東アジアの情勢とモンゴル帝国について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きを考察させる。 ・地図などを見ながらモンゴル帝国成立の世界史的な意義を多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東ヨーロッパ世界と西ヨーロッパ世界、モンゴル帝国について、現在の国家構成や文化もふまえて関心をもって学習に取り組もうとする。 	<p>①ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパ世界の中世文化 <p>②東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国 	<p>【知識・技能】【思考・判断・表現】教科書・資料集などからの読み取り、ワークシート、小テスト</p> <p>【主体的な態度】ディスカッション、ワークシート、レポート</p>	○	○	○	22
定期考査			○	○		1	
			○	○		合計 105	

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科: 数学 科目: 数学Ⅱ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第2学年 1組～7組

使用教科書: (高等学校 数学Ⅱ(数研出版))

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 式と証明 【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 3次式の展開と因数分解 二項定理 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	B 式と証明 【知識及び技能】 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 等式の証明 不等式の証明 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	C 複素数と方程式 【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 複素数と2次方程式の解 高次方程式 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
D 図形と方程式 【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 点と直線 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	A 図形と方程式 【知識及び技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 円 軌跡と領域 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	B 三角関数 【知識及び技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 三角関数 ・教材 教科書、問題集、参考書 一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	

予 期	C 三角関数 【知識及び技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 二つの量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 加法定理 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	16
	D 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 指数関数 対数関数 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	A 微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 微分係数と導関数 関数の値の変化 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
3 学 期	B 微分法と積分法 【知識及び技能】 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 積分法 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科：数学 科目：数学B 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（高等学校 数学B(数研出版)）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理などを体系的に理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する、思考の過程を統合的・発展的に考察して表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めめること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 等差数列と等比数列 いろいろな数列 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 数列 【知識及び技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 漸化式と数学的帰納法 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	A 統計的な推測 【知識及び技能】 標本調査の考え方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 確率分布 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。	・指導事項 統計的な推測 ・教材 教科書、問題集、参考書 ・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>A 数学と社会生活</p> <p>【知識及び技能】 社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化したり単純化したりして、問題を数学的に表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>・指導事項 数学を活用した課題解決</p> <p>・教材 教科書、問題集、参考書</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成</p>	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出</p>	○	○	○	10
	<p>B 数学と社会生活</p> <p>【知識及び技能】 日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学的論拠による判断、問題解決の過程を振り返って粘り強く自己評価できるようにする。</p>	<p>・指導事項 移動平均 回帰分析</p> <p>・教材 教科書、問題集、参考書</p> <p>・一人1台端末の活用 等 授業資料の共有 グラフ描画ソフト ポートフォリオの作成</p>	<p>【知識・技能】 定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

向丘 高等学校 令和6年度(2学年用) 教科: 理科 科目: 物理基礎

教科: 理科 科目: 物理基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組~4組
使用教科書: (物理基礎 数研出版)

教科 理科 の目標:
【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に養う。
【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目	物理基礎	の目標:
	【知識及び技能】	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
	【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			記号 時数
				知	思	態	
1 学期	物体の運動 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習調整能力の現状を知り、今後の学習に向けての課題を把握する。	速さの定義 単位と記号の違い 速度と速さの違い 速度の合成・分解 速度の成分 相対速度 加速速度の定義 加速速度の向きによる運動の変化 等加速度直線運動 等加速度直線運動のグラフ 重力加速度 落体の運動 水平投射 斜方投射	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習調整能力の現状を知り、今後の学習に向けての課題を把握できている。	○	○	○	10
	定期考査(1学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1
	力と運動の法則 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に自己の学習調整能力の課題を見極め、学び方の最適化を図る。また、対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を把握する。	力の3要素 いるいるな力(4つ) 力の作用方法 力のつりあいの式 直線上の2力のつりあい 平面上の3力以上のつりあい 静止摩擦 最大摩擦 動摩擦 ニュートンの運動の3法則 運動方程式 運動方程式の使い方 圧力・気圧・水圧 浮力 空気抵抗	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に自己の学習調整能力の課題を見極め、学び方の最適化を図っている。また、対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を把握している。	○	○	○	10
	定期考査(1学期期末考査)			○	○		1
考査返却・単元の振り返り					○	1	
2 学期	仕事とエネルギー 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に、自己の学習調整能力の課題や対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を見極め、学び方の最適化を図る。また、学びのオーナーシップの所在について、自己評価により把握する。	仕事の定義 仕事の原理 仕事率 仕事とエネルギーの関係 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存則 力学的エネルギー保存則の使い方 仕事とエネルギーの関係式	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に、自己の学習調整能力の課題や対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を見極め、学び方の最適化を図っている。また、学びのオーナーシップの所在について、自己評価により把握している。	○	○	○	6
	熱とエネルギー 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に、自己の学習調整能力の課題や対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を見極め、学び方の最適化を図る。また、学びのオーナーシップの所在について、自己評価により把握する。	温度と熱運動の関係 熱平衡 熱と温度の関係 熱量 比熱(比熱容量) 熱量保存則 熱力学第1法則 熱機関と熱効率	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に、自己の学習調整能力の課題や対話的な学びのための自己のコミュニケーション能力の課題を見極め、学び方の最適化を図っている。また、学びのオーナーシップの所在について、自己評価により把握している。	○	○	○	7
	定期考査(2学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1

年間授業計画

向丘 高等学校 令和6年度(2学年用) 教科：理科 科目：地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組、2組、3組、4組、5組

使用教科書：（「地学基礎」東京書籍）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	私たちの大地 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	地学のむかしといま 地球の形と大きさ 地球の構造 地球内部の動きとプレート 大地形の形成と地質構造 変成岩と変成作用 火山噴火の多様性 火成岩 地震の発生 地震が起こる場所	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	14
	定期考査(1学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1
	私たちの空と海 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	地球大気 地球の大気で起こる現象 地球の熱収支 大気や海水の運動の原因 大気の大循環 海水とその運動 大気と海洋の相互作用	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	11
	定期考査(1学期期末考査)			○	○		1
考査返却・単元の振り返り					○	1	
	私たちの宇宙の誕生 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	宇宙の誕生 宇宙の姿 太陽系の誕生 太陽系の構成 太陽の特徴 地球の特徴	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	6
	定期考査(2学期中間考査)			○	○		1

	<p>2 学期</p>	<p>1</p>	<p>○</p>	<p>1</p>	<p>1</p>
<p>2 学期</p>	<p>14</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>14</p>
<p>定期考査(2学期期末考査)</p>			○	○	1
<p>考査返却・単元の振り返り</p>				○	1
<p>3 学期</p>	<p>15</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>15</p>
<p>定期考査(学年末考査)</p>			○	○	1
<p>考査返却・単元の振り返り</p>				○	1
					合計
					70

年間授業計画

向丘 高等学校 令和6年度(2学年用) 教科:理科 科目:化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組、2組、3組、4組、5(文系)組、5(理系)組、6組、7組、8組

使用教科書: (化学基礎 第一学習社)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、化学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	物質とその構成 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	物質の成分 物質を構成する元素 状態変化と熱運動 原子の構造 電子配置 元素の相互関係	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	8
	定期考査(1学期中間考査)			○	○		1
	考査返却・単元の振り返り					○	1
	物質と化学結合 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	イオン イオンの特徴 イオン結合と組成式 イオン結晶 分子と共有結合 配位結合・結合の極性 水素結合・結晶 金属・錯イオン	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	11
	定期考査(1学期期末考査)			○	○		1
考査返却・単元の振り返り					○	1	
物質と化学反応式 【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握する。	有効数字 原子量 分子量・式量 物質質量 物質質量の単位換算 気体の密度・平均分子量 モル濃度 化学反応式 イオン反応式 化学反応式の量的関係 過不足のある反応の量的関係	【知識及び技能】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する基礎的な知識や法則の活用方法、関連する現象を理解するための観察・実験についての基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目・内容に挙げた項目に関連する現象についての観察・実験や問題演習等を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 指導項目・内容に挙げた項目を学ぶなかで、主体的に試行錯誤しながら自己の学習の状況を振り返り、課題を把握し調整することが出来る。	○	○	○	14	
定期考査(2学期中間考査)				○	○		1

年間授業計画

向丘 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科：保健体育 科目：体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価の機会				配当 時数
			知	技	思	態	
<p>ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の確認・キャッチボール ・ゴロ、フライ、バウンドなど ・トスバッティング ・ピッチャーにランバウンドで返す ・ハーフバッティング ・50～80%の力でセンター方向に打つ ・シートノック ・サードで捕球してファーストへ送球 ・シートバッティング ・打者は試合を想定して進塁打やゴロ打ちやバント ・守備者はボール捕球後アウトゾーンまでボールを送球する ・ケースノック ・チーム別練習 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①技術の名称や行い方について学習した内容を挙げている。 ②攻防を展開するための基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などの動きができる。 ③攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などの動きができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①仲間とともに協力しながら活動し、ソフトボールの楽しさや喜びを自主的に味わおうとしている。 ②チーム内での自己の役割を責任をもって果たそうとしている ③戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。 	○	○	○	○	8
<p>バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、話し合いに貢献しようとするなど、安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人でのボール操作の練習 ・対人でのボール操作の練習 ・動きながらのボール操作の練習 ・サーブ練習 ・サーブカット（レシーブ）の練習 ・スパイクの仕方確認と練習 ・キャッチバレーでのルールを変更し、キャッチ後に打ける制限をしてより、実践に近い3段攻撃を行う。 ・ローテーションの仕方の説明 ・ゲームの中で3段攻撃を意識する ・ブロックについてのルールを確認する ・攻防の中でチャンスがあれば2アタックが有効であることを確認し、練習する ・審判の仕方について確認する ・チームで作戦を立ててゲームをする。 ・自分たちで役割を決め、審判をする。 ・チームの改善点を見つけ、練習をして試合に活かせるようにする。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 ②ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 ③試合の運営の仕方を知っている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の仕方のポイントを見つけている。 ②自己やチームの課題を見つけている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①種目の練習に積極的に取り組もうとしている。 ②作戦などの話し合いなどについて自分の考えを話している。 ③仲間の学習を援助しようとしている。 ④試合に必要な準備を主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	○	8
<p>テニス①</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確認し、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の確認 ・ラリー ・サーブ練習 ・フォアハンドの練習 ・バックハンドの練習 ・スマッシュの練習 ・ドロップショットの練習 ・シングルスでのやり方・規則の確認とシングルスゲーム ・ダブルスのやり方・規則の確認とダブルスゲーム ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①用具の準備、準備運動、練習の仕方や卓球の用語を知っている ②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。 ③各種ショットやサービス、レシーブなどの個人的技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 ②試合の結果や対戦手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	○	8
<p>卓球①</p> <p>【知識及び技能】 個人的技能やペアとの連携能力を高め、自分やペアの能力に応じたゲームができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分やペアの能力に適した課題を設定するとともに、その解決を目指して練習方法を工夫し、技能を生かした作戦を立て、ゲームができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 活動場所や用具などの安全を確認し、まわりを確認してラケットを振るなど、健康・安全に留意して練習やゲームを行う態度を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の確認 ・ラリー ・サーブ練習 ・リターン練習 ・3球目攻撃練習 ・シングルスでのやり方・規則の確認とシングルスゲーム ・ダブルスのやり方・規則の確認とダブルスゲーム ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①用具の準備、準備運動、練習の仕方や卓球の用語を知っている ②個人的技能の構成と自分のレベル、それらを高めるための練習の仕方を把握している。 ③各種ショットやサービス、レシーブ等の個人的技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分やグループの能力に応じて適切にグループの課題を見つけ、計画的な練習の仕方を工夫している。 ②試合の結果や対戦手を分析し、自分(ペア)の技能程度に応じた作戦を立てようとする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の技能を高めるためにすすんで練習に取り組もうとしている。 ②課題を解決するための話し合いや作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 	○	○	○	○	8

1
学
期

3 学 期	<p>バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の観察などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェストパス、バウンスパスの練習 ・フォローアップシュート：30秒間でゴール下シュートを交互に打つ ・サークルドリブル ・基本のレイアップシュートの練習 ・ステップを使用したランニングシュートの練習 ・アウトナンバーの攻め方を確認して、練習 ・ドリブルなしの3対3、4対4、5対5を通して、パスランを学び、空いたスペースに飛び込む動きを習得する ・ゲームの課題に応じた練習をする ・試合 	<p>【知識及び技能】①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。②ゴール前での攻防を展開するためのボール操作と空間に走りこむなどの動きができる。③ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】①自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。②技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。③話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】①学習に自主的に取り組もうとしている。②作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	○	8	
	<p>サッカー</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開すること。サッカーは状況に応じたボール操作と空間を定めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、合意形成に貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マーカーやコーン、ラダーなどを使ったステップワークのトレーニング ・基礎的な対面パス ・コートドリブル ・ポストシュート ・センタリングシュート ・DFを置いた状態でオフサイドルール適用のミニゲーム ・コーンを置いた状態で走りこみスクエアパス ・タッチ制限ありのミニゲーム ・オフサイドやバックパスなど、細かいルールの再確認 ・チームの課題に応じた練習 ・チームに分かれゲーム形式。試合を重ねる中で相手に応じた作戦を考えていく。 ・試合 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。・学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。・体力や技術の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。・マナーを守ったり相手の健康を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。・健康・安全に留意している。 	○	○	○	○	8	
	<p>持久走</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、一定のペースで走り続ける技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】長距離に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走の授業について確認 ・タイム計測 ・タイム計測② ・タイム計測③ ・タイム計測④ ・タイム計測⑤ ・タイム計測⑥ ・タイム計測⑦ ・タイム計測⑧ ・タイム計測⑨ ・タイム計測⑩ ・タイム計測⑪ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。健康・安全を確保しようとしている。 	○	○	○	○	9	
								合計	105

定期考査			○	○		1
------	--	--	---	---	--	---

3 学 期	<p>「健康を支える環境づくり」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について意欲的に学ぶことができる。 様々な保健活動や社会的対策について意欲的に学ぶことができる。 健康に関する環境づくりと社会参加について意欲的に学ぶことができる。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用方法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があ 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 8組

使用教科書：（教育出版Tutti+ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		歌	器	創						
1 学 期	正しい発声を身に付けて、クラスの歌声を響かせよう－オリエンテーション 【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表す。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら2部、3部合唱で歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・発声の基礎を学ぶ。 ・混声2部、3部合唱曲に取り組む、ハーモニーの作り方を学ぶ。 ・混声合唱の基礎を学び、より深い表現を作り上げる。 【教材】 ・Pretender ・大きな古時計 ・よりよい歌声のための練習曲	○				○	○	○	6
	言葉の特性と曲種に応じた発声を理解し、表現を創意工夫しながら歌唱しよう 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声について理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱する。 【思】音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【態】言葉のリズムや抑揚、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらがどのように表現に影響するのかを考え、歌唱する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・からたちの花 ・Core 'ngrato	○		○			○	○	5
	吹奏楽の魅力味わおう～移調楽器について深く学ぶ 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。移調楽器の理論を理解し、アンサンブルなどの楽曲を編曲する技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、曲に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【態】心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	【指導事項】 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、鑑賞する。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて意見を交換し理解を深める。 【教材】 ・オリオン急行 ・楽器音域表			○			○	○	5
弾き歌いにチャレンジしよう－ギターかピアノを選択して－ 【知】ギター及びピアノの基礎的・基本的な技能を身に付け、各自が選択した楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜、伴奏の技能を身に付け、創造的に表す。 【思】リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱と伴奏の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、楽曲の表現内容を総合的に理解し、どのように歌うか表現意図をもつ。 【態】各自が選択した楽曲の表現内容に関心をもち、弾き歌いという音楽の形態に意欲的に臨み取り組む。	【指導事項】 ・ギター及びピアノの基本奏法を理解し、アンサンブルに親しむ。 ・ふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 【教材】 ・カントリーロード ・Let it be ・Jpop（自由選択）	○	○	○			○	○	10	

<p>生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。</p> <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の非制限用法、仮定法過去・仮定法過去完了について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開(列挙)に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチにおける注意点を理解しようとしている。 ・効果的なスピーチにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくスピーチをしようとしている。 	<p>Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 5、6 Listening Strategy Listening Tips</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、関係代名詞の非制限用法、仮定法を用いながら、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関係代名詞の非制限用法、仮定法を用いて、効果的なスピーチをするための方法を理解し、聞き手に配慮して分かりやすくスピーチをしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 14</p>
<p>Lesson4</p> <p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害と防災についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞+have+過去分詞、完了不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開(例示・追加)に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。 	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 7、8 Listening Strategy Listening Tips</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 自然災害と防災について理解することができる。自然災害と防災についての英文の概要や要点を理解することができる。自然災害と防災についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を用いながら、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を用いて、効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して分かりやすくプレゼンテーションをしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 14</p>
<p>期末考査</p>		<p>○ ○ ○</p>		<p>○ ○ ○ 1</p>
<p>Lesson5</p> <p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本および世界の元号についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・日本の俳句の英訳をすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の非制限用法、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・同格表現や言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションの役割分担を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。 	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 9、10 Listening Strategy Listening Tips</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 日本および世界の元号について理解することができる。日本および世界の元号についての英文の概要や要点を理解することができる。日本の俳句の英訳をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、関係副詞の非制限用法、同格のthatを用いながら、ディスカッションすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関係副詞の非制限用法、同格のthatを用いて、ディスカッションの役割分担を理解しながら取り組んでいる。読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 14</p>
<p>Lesson6</p> <p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードロス・フードウェイストの問題についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了形の名詞構文、複合関係詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章の展開(対照)に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のアンケートの構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。 	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 11、12 Listening Strategy Listening Tips</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識・技能】 フードロス・フードウェイストの問題について理解することができる。フードロス・フードウェイストの問題についての英文の概要や要点を理解することができる。フードロス・フードウェイストの問題についてやり取りすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 整理した内容を活用し、完了形の名詞構文、複合関係詞を用いながら、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 完了形の名詞構文、複合関係詞を用い、聞き手や読み手に配慮して、英語のアンケートの構成を理解しようとした上で、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ 14</p>
<p>2学期 中間考査</p>		<p>○ ○ ○</p>		<p>○ ○ ○ 1</p>

<p>Lesson7 <題材内容とねらい> ・南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 <文型・文法事項> ・さまざまな仮定法、否定語+倒置について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・やり取りをうまく継続させることができる。 <場面・状況など> ・プレゼンテーションの注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus Focus on Language Five Skill Areas Reflect on Your Learning Listening Laboratory Hyper Listening Pre-Intermediate Lesson 13、14 Listening Strategy Listening Tips</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージを理解することができる。南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについての英文の概要や要点を理解することができる。南谷真鈴さんの冒険と、彼女のメッセージについてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用し、さまざまな仮定法、否定語+倒置を用いながら、自分自身の目標や行動計画を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな仮定法、否定語+倒置を用いて、プレゼンテーションの注意点を理解しながら、聞き手に配慮して、わかりやすく自分自身の目標や行動計画を説明しようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>Lesson8 <題材内容とねらい> ・電池の発展についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創造</p>	<p>Get Ready Comprehension Over to You Did you know? Make It Your Own! Activity Plus</p>						<p>【知識・技能】 電池の発展について理解することができる。電池の発展についての英文の概要や要点を理解することができる。電池の発展についてやり取りすることができる。 【思考・判断・表現】 整理した内容を活用して、創造</p>				

高等学校 令和6年度(新2学年) 教科

家庭科

科目 家庭基礎

教科： 家庭科

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (教科書： Agenda家庭基礎 (実教出版) / 副教材： Agenda家庭基礎学習ノート (実教出版), 最新生活ハンドブック2024資料+成分表+ICT (第一学習社))

教科 家庭科

の目標：

生活様式の多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につける	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
家庭科を学ぶにあたって 1章 自分・家族-多様化した社会に生きる 【知識・技能】 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。	・指導事項 ・社会と生き方の多様化の広がりについて考える ・差別のない社会をつくる方法を考える ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。	○	○	○	2
2. 青年期の自立 【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	・指導事項 ・自分の自立度を考える ・課題解決に向けた行動（社会や政治に対する関心を持つなど）を理解する ・ひとりで暮らすために必要な生活スキルについて考える ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	○	○	○	4
3. 社会の変化と家族 4. 家族・人生・生き方と法律 【知識・技能】 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。家族に関する法律についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について理解できる。	・指導事項 3. 社会の変化と家族 ・家族構成の変化とその背景についてまとめる 4. 家族・人生・生き方と法律 ・他者とよりよい関係を築くための方法を考える	【知識・技能】 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。家族に関する法律についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について理解できる。				

1 学期	<p>【思考・判断・表現】・凶衣などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかかわりについて関心を持ち、現在の家族・家庭が抱える課題を見いだそうとする。</p>	<p>・家族法の基礎的な知識や近年の動向（夫婦別姓や同性婚など）を確認する</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>かじさ、現住の家族・家庭のめりカや役割について考えを深め、表現することができる。・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。労働の意義や役割、労働時間と生活時間とのかかわりについて関心を持ち、現在の家族・家庭が抱える課題を見いだそうとする。</p>	○	○	○	6	
	定期考査			○	○		1	
	6章 衣生活一選んで着る一	<p>【知識・技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。・衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 衣生活を見直す 人と衣服のかかわり・季節ごとの着こなしについて考える。</p> <p>2. 衣服の機能と着装 ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。</p> <p>3. 衣服の材料と成り立ち 持っている衣服の機能性繊維を確認し、その構造を調べる</p> <p>4. 衣服の管理 ・日常生活の中で衣服にどのような汚れが付着するかあげ、適切な洗濯方法を考える</p> <p>5. 安心して衣服を着るために ・衣服の購入から手入れまで、どのような管理が適切か考える</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。・衣服材料の性能と特徴、衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。・衣類の購入から廃棄まで、計画的な衣生活を営む知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。</p>	○	○	○	4
	6章 衣生活一選んで着る一 7. これからの衣服	<p>【知識・技能】不要となった衣類について、リサイクルに回す、つくりかえるなど、実生活において実践すること。材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組む</p>	<p>・指導事項</p> <p>7. これからの衣服 環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができるところを調べる。</p> <p>衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につけ、持っている衣服をより長く着用できるようにする。</p> <p>・教材：基礎縫い</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】不要となった衣類について、リサイクルに回す、つくりかえるなど、実生活において実践すること。材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着の管理ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】基礎縫いの確認のための実習や、衣服調査などにおいて、積極的に取り組もうとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1	
5章 食生活一楽しく安全に食べる一	<p>【知識・技能】日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な</p>	<p>1. 食べることを通して ・日本の食文化の成り立ちを理解する。</p> <p>・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。</p> <p>・健康で豊かな食生活をはぐくむ</p> <p>2. 栄養と食品</p>	<p>【知識・技能】日本の食文化について、成り立ちや特徴を理解できる。食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>					

2 学 期	<p>さる。木食・良品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の地域の郷土料理について、歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。 自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し、違いを自分の言葉で表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。</p>	<p>3. 木食系のはたけと良品の木食</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 <p>4. 食品の選択</p> <p>5. 食品の取り扱い</p> <p>6. 食品の安全性</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の地域の郷土料理について、歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。 自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し、違いを自分の言葉で表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>5章 食生活一楽しく安全に食べるー</p> <p>【知識・技能】</p> <p>安全性、環境などの多様な視点を持ち、現代の食生活の問題点および課題を見出し、思考を深めている</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自らの食生活について、栄養、環境、食品の選択、経済性などの視点から、問題点・課題と解決の方向性をみいだすことができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できている、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理をするなどの行動ができる</p>	<p>7. 豊かな食生活の背景には</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食料自給率について理解する プラスチック製品の使用・廃棄の状況について理解し、環境保全のためにできることを考えることができるようにする <p>8. 食事をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養や食品についての知識を元に健康を考えた献立を作成し、調理についての基本的な技術や食品の特性をいかした調理法について理解し、実践できるようにする 	<p>【知識・技能】</p> <p>安全性、環境などの多様な視点を持ち、現代の食生活の問題点および課題を見出し、思考を深めている</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自らの食生活について、栄養、環境、食品の選択、経済性などの視点から、問題点・課題と解決の方向性をみいだすことができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できている、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理をするなどの行動ができる</p>	○	○	○	8
	<p>8章 消費・環境ー消費社会を生きるー</p> <p>【知識・技能】消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解しようとする。</p>	<p>8章 消費・環境ー消費社会を生きるー</p> <p>1. お金の管理とライフデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間の生命保険を調べ、必要な場合を考え比較する 1か月の支出の概要をまとめる ライフイベントにかかる費用を調べる <p>2. 暮らしと経済のかかわり</p> <p>3. 意思決定と契約</p> <p>4. 購入方法の多様化</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットで商品を購入し、商品が手元に届くまでにどんな契約が必要になるか考える <p>5. 消費者問題</p> <p>6. 消費者保護</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者を守る法律はどのような場合に有効なのか考える 近隣の消費生活センターを調べる <p>7. Webサイトで最新の被害事例を調べる</p> <p>7. 持続可能な社会をめざして(1)(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な発展のための三つの原則に照らして、自分の生活や日本の現状について事例をあげて検証する 	<p>【知識・技能】消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかわりについて積極的に理解しようとする。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>2章 子どもー子どもと生きるー</p> <p>【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。</p>	<p>1. 子どもと出会う</p> <p>2. 子どもの心とからだの発達</p> <p>3. 子どもの生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の子どもの発達の特徴についてまとめる 生活リズムや基本的な生活習慣の援助について理解する <p>4. 子どもと遊ぶ</p>	<p>【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>子どもの心身の発達、親の役割や子育ての意義について理解する</p>				

3
学
期

<p>りることからくる。 【思考力、判断力、表現力】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。・子どもとふれあう体験学習や、実践活動などについて、目的の設定、体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについて、レポートを通して表現することができる。 ・準備、実施、考察・反省まで、体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。子どもとふれあう体験学習や、子どものためのおもちゃづくり、お菓子づくりなどの実践活動に、積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとしている。</p>	<p>4. 子どもの心身の発達、状況の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 5. 子どもの育つ環境と社会 6. 子どもの権利と福祉 ・さまざまな保育の場があることを確認する ・子育て支援やその課題について調べる” ・子どもが持つさまざまな権利や子ども・子育てに関わる法律について確認する</p>	<p>子どもの心身の発達、状況の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。・子どもとふれあう体験学習や、実践活動などについて、目的の設定、体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについて、レポートを通して表現することができる。 ・準備、実施、考察・反省まで、体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。子どもとふれあう体験学習や、子どものためのおもちゃづくり、お菓子づくりなどの実践活動に、積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>16</p>
<p>3章 高齢者-高齢者と生きる 【知識・技能】 ・高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。・認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。 ・介助技術や車椅子の扱い方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集し・分析する課程において、課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 ・高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り、高齢者とのかかわることで、高齢社会に関する課題を導き出すことができ、それをレポートなどで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とのかかわろうとしている。</p>	<p>3章 高齢者-高齢者と生きる- 1. 高齢者を知る 2. 高齢社会の現状と課題 ・新聞から「高齢者」に関する記事を探す ・さまざまな資料から高齢社会の現状や課題を確認する 3. 高齢者の尊厳と自立の支援 4. 高齢者を支える制度としくみ ・介助者への支援としてどのようなものがあるか調べ、体験する ・高齢者の心身の特徴についてまとめる 4章 社会福祉-支えあい共に生きる- 2. 共生社会の実現に向けて ・共生社会とその理念を調べる ・ボランティア活動や、持続可能な共生社会をめざした取り組みについて考える ・自分の住んでいる地域の災害に備える取り組みについて調べ、発表する</p>	<p>【知識・技能】 ・高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。・認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。 ・介助技術や車椅子の扱い方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集し・分析する課程において、課題の発見、解決の方向を導き出すことができる。 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 ・高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り、高齢者とのかかわることで、高齢社会に関する課題を導き出すことができ、それをレポートなどで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とのかかわろうとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>4</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>
						<p>合計</p>
						<p>70</p>